

# しあわせ

7 月 号



子どもいうもんは  
 思いどおりに  
 ならんですよのう  
 よけえこそ  
 かわいいですよのう。

## 「手を合わせる母」

「あなたは誰ですか？」と問われたら、誰でもとりあえず名前を名乗るだろう。しかし、さらに続けて「あなたは誰ですか？」と問い続けられたらどこまで説明ができるだろうか。誰もが自分のことは分かっているつもりであるが、そもそも自分とは何者なのか、何のために生れ、何のために生きているのか。どこへ向かっているのか、何がしたいのか。何をしようとしているのか、問い続けてゆくと、自分のことは自分が一番わかっていると思っていながら、実は何も分かっていないことに気づく。

自分のことさえ、本当はわかっていることに気付く時、そんな自分が多くの命に支えられて生かされていることの不思議が見えてくる。

「人の命ほど尊いものはない」と言ってみても、憎いと思う人は例外である。「善悪のふたつ存知せざるなり」といわれた親鸞聖人のお言葉に、「まことまこと」と頷かずにはおれない。

## 法座案内

△法味の会▽

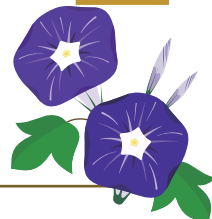
七月 十五日(金) 午前十時  
 お話 自坊住職

△盆会法要▽

八月 八日(月) 昼席・夜席  
 九日(火) 昼席  
 講師 福岡 義朝師  
 (本願寺派 布教師)

※本堂内は常時換気しておりますが、参拝の際は、検温・マスク着用をお願い致します。

府中町山田二丁目一五十三  
 栢原山 龍仙寺  
 電話(〇八二二八)一四八二



竹原の布教師、菅知尚先生から聞いたお話です。お月忌参りをされていたとき、ご門徒のおばあちゃんと子育ての話になったそうです。当時、小さいお子さんを抱えられていた先生は、子育てに奮闘される日々のなかで、つくづく実感されていたんでしょう。「いやあしかし、子どもって、ほんとうに言うことを聞かないのですねえ。」

すると、そのおばあちゃんは、にっこり微笑んで、こう答えられたそうです。

「ほうですよ。う お寺さん

子ども いうもんは

思いどおりにならんですよのう

よけえこそ かわいいですよのう」

まったく想定外のおばあちゃんの返しに、先生はまさに目からウロコであったそうです。

思い通りにならない。だからこそ、余計にかわいい……。なんと破壊力抜群の言葉でしょうか。わたしなど、ともすれば子どもた

ちとおなじ土俵で相撲をとってしまい、穏やかに躑けているつもりが、知らず知らずイライラがつのって、気がつけばただの親子ゲンカに……。ということがしばしばです。そんなわたしの頭からは絶対に出てこない言葉ですが、そんな言葉が成り立っている世界があり、その言葉を実際に生きておられる人がいる。その事実に出会わせていただくだけでも、ずいぶん日々の眺めは違ってきますね。

思い通りにならない、そのまっ只中でこそ、感じとっていけるしあわせがある。おばあちゃんの一言は、思い通りにならない日々のなかで、あちこちにつかり、行きづまり、たんこぶだらけのわたしのこころに、やさしいすきまをあけてくださいます。

そういえば、心療内科医の河合隼雄先生が、同じような言葉に出遇ったエピソードが有名ですね。河合先生が講演のために東京出張されていたときのことです。講演前日の夜、

以前から心配をされていたある患者さんから、電話がかかってきたそうです。

「先生、もう俺あかんわ……」

ただそう言葉を伝えて、その患者さんは電話を切られました。河合先生は、居ても立ってもおもられず、翌日の講演のことも放り出して、新幹線の駅に向ってタクシーを飛ばされました。けれども、いったいその患者さんにどのようなことをかけてあげたらいいのか……。その患者さんのつらさを思うと、先生はかけることが何も見つかりませんでした。そのままタクシーは駅につき、先生はともかくもみどりの窓口に走り、駅員さんに尋ねました。

「大阪行きの新幹線、まだありますか！」

すると、駅員さんはこう言われたそうです。

「のぞみはもうありませんが」

ひかりならあります」

のぞみはないけれど、ひかりはある……。まさしくその通りだ！その言葉に全身で頷かされ

た先生は「有難う。あなたのおかげです！」と全力でお礼を伝えられたそうです。駅員さんは、何のことかわからなかったようですが、偶然生まれたこの駅員さんの言葉もすばらしいですね。どんなに頑張っても、のぞみが叶わない。なにひとつ、思いどおりにならない。そんな時にさえも、なお、わたしに届いてくださっている光はあるのです。

人は苦しみが堪えられないのではなく、意味の見えない苦しみが堪えられないのだといわれます。言葉をかえせば、そこに意味があるならば、生きる意味を照らしてくれる光があるならば、わたしたちは思いどおりにならない人生でも、なお合掌して歩み切ることができのです。お念仏はまさしくその光だといえるでしょう。ならば私たちは、お念仏という光を仰いで、言いきらせていただきますしやう。

生きるいうことは、思いどおりにならないですよのう。よけえこそ有難いですよのう、と。